

まちづくり交付金 事後評価シート
一戸町奥中山地区

平成21年12月

岩手県一戸町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県	市町村名	一戸町(いちのへまち)		地区名	奥中山地区(おくなかやまちく)			面積	940ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	287.3百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業のうち町道2路線(町道岳川西岳スキー場線、町道釜石武大敷線)、公営住宅等整備のうち町営奥中山第1住宅(1棟5戸)									
		提案事業	地域創造支援事業のうち地域公民館整備事業として奥中山公民館、イベント支援事業として2件(奥中山高原温泉まつり、カンオペラント奥中山高原ウォークラリー)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	地域公民館整備事業(奥中山公民館建設)	農協の統廃合により、既存の農協施設を公民館施設として利用できるようになったため			影響はない					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業のうち町道3路線(町道奥中山第1住宅線、町道奥中山分譲線、町道奥中山小学校西線)	目標をより良く達成するため			影響はない					
		提案事業										
交付期間の変更	当初	平成17～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—						
	変更	変更なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	居住人口	人	3,041	H16	3,100	H21	3,026	3,005	△	あり なし ●	居住人口は減少傾向にあるが、公営住宅整備等により一時は目標値を上まわり居住人口の下げ止まりに効果を現している。
指標2	交流の活性化	人	370,277	H16	503,000	H21	360,349	360,084	△	あり なし ●	観光施設等の利用人口を指標しており減少傾向にあるが、奥中山高原温泉では事業実施から増加傾向へ転じ、下げ止まりの効果が現れている。	平成22年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	奥中山地区世帯数	世帯	1,057	H16		1,221	1,231			道路の整備、及び公営住宅の整備により世帯数の増加へ効果発現を促した。	平成22年4月
	その他の数値指標2	イベントの累積開催数	回	-	-			10			事業を活用し継続してイベントを開催したことにより、イベントのリピーター率も高く、奥中山高原ブランドのPRにもつながり交流の活性化へ効果を上げている。	-
その他の数値指標3	奥中山高原温泉施設利用者数	人	124,291	H17		141,598	147,927			施設へのアクセス道路の整備や施設を活用したイベントの開催・PRにより、減少傾向から増加傾向となり効果を上げている。	平成22年4月	
4)定性的な効果発現状況	奥中山高原ブランドのイメージが向上した。 町内外問わず奥中山地区に住みたい、町営住宅を希望する人の問い合わせが多い。 アクセス道路の整備されたことにより、安全性が確保され地域内観光施設及び交流施設へ容易に行けるようになった。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	定期的な数値指標の評価			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後定期的に確認を行っていく。			
	住民参加プロセス	地域創造支援事業 カンオペラント奥中山高原ウォークラリー			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後も引き続き継続し、発展へ努めていく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	事業終了後に於いても、各種観光交流を利用した交流人口の増大を図るため、町及び一戸町体育協会・まちづくり地域振興会と連携し、イベントを継続し交流人口の増大に努める。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後も引き続きイベントの開催ができるよう組織の活動を促進していきたい。			

様式2-2 地区の概要

奥中山地区(岩手県一戸町) まちづくり交付金の成果概要

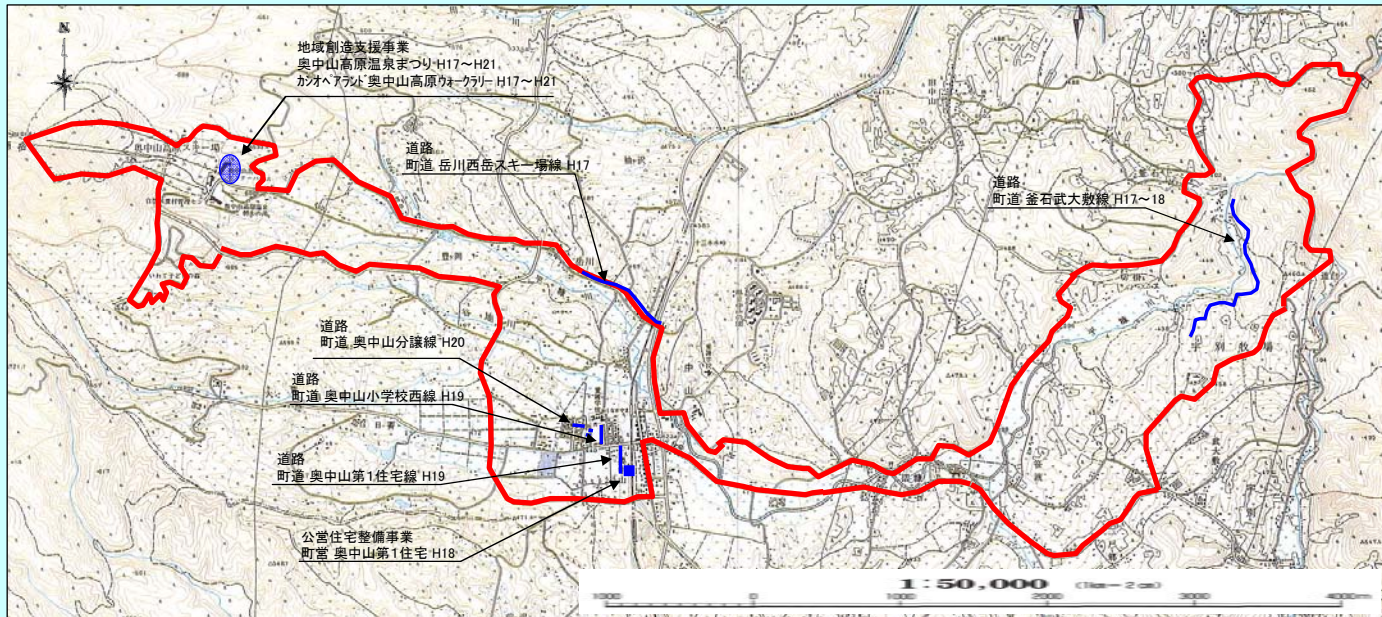
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
■観光施設へのアクセス道路沿いの住環境整備及び無秩序な宅地開発を防ぐ等、一戸町景観形成マニュアルを基に、周囲の豊かな自然と共生する暮らしやすい住環境を整備し、交流人口の増加及び定住促進による居住人口の増加を図る。 ■地域内観光施設及び交流施設へのアクセス道路の整備をし施設利用者の安全を確保し、交流人口の増加を図る。	居住人口の増加	単位: 人	3,041 H16	3,100 H21	3,005 H21
	交流の活性化	単位: 人	370,277 H16	503,000 H21	360,084 H21
		単位:		H	H



地域創造支援事業
カソヘアラント 奥中山高原ウオーケリー



道路
町道奥中山分譲線



公営住宅整備事業
奥中山第1住宅(1棟5戸)



道路事業
町道奥中山第1住宅線

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の整備や、住宅地の道路の整備(砂利道等→舗装)がなされ暮らしやすい住環境の確保がなされた。 ・イベント会場となった施設では施設利用人口が増加傾向へ転じ、また、豊かな自然を利用したイベントの開催をすることができた。 ・観光・交流施設までのアクセス道路の整備がなされ、道路が安全に通行できるようになった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・奥中山高原ブランド等の地場産品を利用したPR活動をし、知名度の向上を図る。 ・観光交流施設において閑散期の分析をし、それに合わせたイベントの開催で集客を図る。 ・居住促進へ向け、空き家の有効活用、アパート等家賃の補助、未活用の町有地を分譲地として造成等について検討する。